

社会福祉法人光朔会オリンピア 議事録

| | | |
|----|-----|------|
| 館長 | 部門長 | リーダー |
| | | |

記入日： 2016年 6月 11日

| | | | |
|---|--|-----|--------------|
| 会議名 | グループホームオリンピア兵庫 第60回運営推進会議 | 記入者 | 稲田 麻里 印 |
| 日時 | 2016年 6月 11日(土)10:40~11:30 | 場所 | Cafe Olympia |
| 参加者 | 【入居者】(ユニット1)三橋アサエ様 (ユニット2)長谷伸子様、吉本美齡子様、鷲尾須磨子様 | | |
| | 【ご家族】三橋敏弘様(三橋アサエ様)、天野淳子様(吉本美齡子様) | | |
| | 【地域包括】原 教泰様(浜山あんしんすこやかセンター)【地域代表】山本知枝(Cafe Olympia・店長) | | |
| | 【知見を有する者】中村文香(大阪大学大学院人間科学研究科) | | |
| | 【社会福祉法人光朔会】山口 元(理事長) 【オリンピア灘】山口裕子(保育事業本部長・ホーム長) | | |
| | 【オリンピア兵庫】西塚裕真(グループホーム管理者) | | |
| 配付資料 | レジュメ、月刊オリンピア兵庫119号・120号(2016年5月・6月発行) | | |
| | Salon de l'Olympia Vol.41 "Violin Concert" チラシ | | |
| 議 事 | | | |
| 1. ごあいさつ(西塚裕真・グループホーム管理者) | | | |
| 2. 運営推進委員の自己紹介(各出席者) | | | |
| 4月にご入居された長谷様が初めて参加してくださった。今回は4名のご入居者の方にご出席いただいた。 | | | |
| 3. 行事のご報告(西塚裕真・グループホーム管理者) | | | |
| 4月2日に神戸海洋博物館で行われたLight It Up Blue、自閉症をはじめとする発達障害について理解を深めるためのイベントにCafe Olympiaから出店し、コーヒーやホットドッグ、シナモンロールなどの販売をおこなった。また、今年は23名の新入職員を迎え、兵庫GHIにも1名入職した。5月から神戸松蔭女子学院大学、関西学院大学、神戸私立外国語大学など数多くの大学から介護等体験等で実習を受け入れている。10月ごろまで、毎週受け入れを予定している。また、実習やスタッフの紹介で学生アルバイトが増えてきている。21日には、三石神社のお祭りがあり、お神輿を引いて来てくださった。 | | | |
| 4. ユニットからのご報告(稲田麻里・ユニット1リーダー、高井敏之・ユニット2リーダー) | | | |
| (稲田)4月はお花見やお散歩、ガーデニングを楽しんだり、三橋様と外出するといつも近所の方にお声をかけていただいている。5月はお誕生日ケーキを作ったり、三橋様の息子様からラジカセとカセットテープを持って来ていただき、ラジオを聞きながら朝食や会話を楽しんだり、三橋様はお好きな歌のテープを流されて楽しまれている。また、スイカと飲みものを持って行ってノビアスタジアムの横の公園へでかけたりした。嶋田様はご入居されてからここでの入浴を恥ずかしいと入っていただけでなかった。そこで、アグロの湯などのお風呂であれば入っていただけのではないかと思いますおでかけしたところ、入っていただくことができました。 | | | |
| (高井)宮田様が最近オセロをされている。多少ハンデはあるが勝つことができない。また、宮田様はゼリー食を召し上がっているが、ただこちらが用意したものをお出しするのではなく、一緒に買いにでかけてご自身で食べたいものを選んでいただく機会を持っている。天気の良い日には、テラスや屋上でお茶をしたり、IKEAにおでかけした。 | | | |

議事

5月から介護等体験が始まり、大勢の学生さんが実習に来られている。介護の楽しさや遣り甲斐を感じてもらえるようにしたい。そこで、ご入居者の方と実習生と一緒にHAT神戸の足湯にでかけたり、近所に日用品を買いにでかけたりした。

5. 意見交換

西塚管理者「7月2日に岡田武史氏をお迎えし『人生の中の喪失と悲嘆』というテーマでお話していただく。

兵庫県教育委員会、神戸市教育委員会が後援、オリンピアも協賛させていただいている。滅多にこういった機会はないと思う。サッカーに興味がある方はもちろん、そうでない方にもお声かけいただき、是非、ご参加いただきたい。また、7月23日に毎年恒例となった大阪フィルハーモニー交響団のヴァイオリニストの近藤緑さんをお迎えしてのSalon de l'Olympia"Violin Concert"を開催する。今回のテーマはハワイアン。どなたでもご参加いただけるので、お誘いあわせの上、お気軽にお越しください。内部研修も随時おこなっており、パーソンセンタードケアコミュニティでは、ケアの悩みなど他施設のスタッフも交えて相談したり、意見交換している。」

長谷様「病院ではあまり食べられなかったが、ここでは完食しており、息子や娘が喜んでくれている。」

原氏「入居されている方の声が一番だと思う。いいケアをされていると思う。」

天野氏「実習生に楽しんでもらうという思いはオリンピアの全てだと感じる。義務ではなく、ご本人のことを思っ
てくださっているのがありがたいが、もう少し、掃除をしましょう。」

山口理事長「なぜ、オリンピアが『生と死を考える会』の講演会に協賛しているかというと、清原氏と同じでクラブが終わったり、卒業後に目標を失い、自殺や犯罪を犯すことも多い。障害があっても高齢であっても『人として生きる』ために支えることを目標にしているオリンピアの活動の一環である。オリンピアの職員は社会を変えていく戦士である。Light It Up Blueへの参加もそのひとつである。そういう社会の実現のために普段から『グループホーム屋』になるなど言っている。」

○第61回運営推進会議 8月13日(土)10:00